

枇杷島消防団



● 枇杷島消防団詰所 ●
住所 西区枇杷島五丁目11番10



枇杷島消防団では、毎月公園を使用して放水訓練を実施しています。学区を南北2区域に分け、それぞれに可搬式ポンプ隊を編成し全団員が放水と機関操作、更には西消防署員さんの指導による放水訓練などを行っています。私共の学区は美濃路街道を中心に発展した、旧南部地区と戦後急速に市街地化した北部地区に大別できますが、自然災害の有事に際しては上記の二隊が互いに連携し合い、総動員で鎮火に努める覚悟です。全員が防災のマイスターとの気概で毎月訓練を実施して更なる技量向上に努めてまいります。



枇杷島消防団
加藤唱伸団長

平成16年、名古屋市枇杷島消防団第五代団長を拝命してより、学区の皆さんを災害から守るため、最良の方法は何かを自問自答してまいりました。結果、直下型活断層地震を想定して対応すれば、プレート型連動地震にも対応できると考えました。団長研修で訪れた神戸の阪神淡路大震災記念館（人と防災未来センター）で学んだ体験を基に、再度団員の皆さんと同館を尋ね、実体験に基づいた研修を受けました。ここで震災有事のとき消防団員は、まず消火にあたる事を一義とし、常時消火訓練を行い、神戸市長田区で実際に発生した阿鼻地獄の惨状を枇杷島学区内では起こさせてはならないと全員が決意しました。これを教訓に、これからも地に足をつけた地道な訓練を行ってまいりたいと思います。